

「考え」をすっきり整理する力 … 比べる(対比) おきかえる

先人の知恵が宝庫である歴史から、現在そして将来の生活に生かすことができることに気付いてほしいと考えています。現在の日本の形を変えるきっかけにもなった150年前の「戊辰戦争」。その方向性を決めた加茂軍議を教材にした学習の足跡まとめました。

見えない背景をすっきり整理する「比べる」

人と人が対立する原因の中にこそ、対話的な生き方のための知恵が詰まっています。戊辰戦争当時の状況図を基に、対立点を比べ整理する中で「大名格差からの不満」や「義(生き方)と理(考え方)の違い」など、考



学習パンフレット「義か理か」

資料とミニ劇で深める力 「おきかえる」

新政府・幕府側の新しい国家像【考え方】を比較！さらに、ミニ劇【生き方の違い】を加えて、両者の違いを際立たせました。ここで「(例えば)今と比べたら？」と「おきかえる」問いで「最終決定者が一人」という共通点に気づき、対立ではなく、違いと捉えることで、対話に繋がることを学びました



歴史事象のミニ劇

「対立を違いに、そして対話」へ

… 歴史から学んだ知恵を、生活に生かすため

過去を今におきかえて考えさせることで共通点も見えてくる。この考え方が対話的解決につながる

加茂軍議で知恵を検討 … 「根拠+予測」

小千谷談判から探し出した知恵が「加茂軍議で生かされたのか」、ミニ劇を通じて検討しました。一言で話し合いの流れが変わることがあります。この会議でも「(新政府軍)への抗戦」に急変した部分を中心に考え合いました。子供からの意見は、前時の②



考えを共有するミニ劇

「河井の主張の根拠を問う」や④「もしそうしたら～予測する」で、より冷静な判断ができた等。

小千谷談判からの知恵探し！…多様な考えを収束

加茂軍議前にあった「小千谷談判」を教材に、時代背景を資料で理解し、ミニ劇で内容理解を深めました。子供から出てきた知恵を大きく4つに分類！

【対話のための4つの知恵】

- ① 幕長岡藩：もっと早く決める
- ② 幕河井：相手が言う内容を考えて言う
- ③ 新岩村：上の(強い)立場なら、きつく言わない
- ④ 新岩村：相手の考えを取り入れる

グループ毎のミニ劇では、台本に感じたことを自由に書き込む。

劇で「対話」の知恵を発表！… 伝わる

今後は、「義」(生き方)や「理」(考え方)という価値観の違いから生まれる様々な問題を解決するための知恵を、歴史劇「加茂軍議」の中に組み込んで、学んだことが「伝わる」ように学習していきます。

【学習の流れ】(10時間)

- 150年前の対立の原因
- 河井継之助の考えで解決できたか
- 加茂軍議を再現！～どこに問題が？
- 対話で解決！～加茂軍議からの知恵探し
- 学んだことを劇で表現！



発表目的をナレーションする子供達



当時の須田を納めていた新発田藩の視点から対話の必要性を訴える



小千谷談判を通じた対話の知恵～相手の考えを受け入れること



加茂軍議を通じた対話の知恵～相手の考えを受け入れる際に、根拠を確かめる、どうなるか予測する、相手をリスペクトする「対話の公式」につなぐ

須田 dy (ふるさと・須田学習) 学習劇発表会

「対立から対話へ」

～加茂軍議から学ぶ 20人の対話の知恵探し～

須田小学校6年生20名による学習劇
150年以上も前、加茂で行われた加茂軍議！新政府、日本のかたちを変えた2回の会議とは？前後の戊辰戦争の歴史的事実を捉えながら、歴史から学ぶ「対話の知恵」について学んだことを、劇で表現します！

日時 令和2年2月20日(木) 11:30
会場 須田小学校 体育館

「ふるさと・須田」のこころを知ることを意味や価値は何でしょうか。須田小では、次のように考えています。

■「お返し」と「お返し」の“縦軸思考”を育てる「須田dy」
自分の住む「ふるさと」の姿は、先人や周りの人たちのたゆまぬ努力によって、維持・発展してきた結果であり(お陰様で)、「ふるさと」をよりよい未来につなげていくために、今何が出来るか考え行動(お返し)することが、今の自分たちの手にあります。別の言い方をすれば、「過去・現在・未来」の時間軸で物事を考える“縦軸思考”を育てることです。そのことは、自分自身の成長を見つめることにも重なります。他の人や、他の物、他の場所と単純に比べて、一喜一憂する“横軸思考”を超える大切な考え方です。
このような考え方を育てることが須田dyの目標です。メディアに登場するキラキラ輝くヒーローのように、安全で過ごしやすい生活を築いている素敵な人たちが、すぐ横にいることを再発見していきます。例えば、須田の施設で働く人、水害から須田を守る人々、そして、その水と須田の土から果物や米を生み出す人。「どこか」ではなく、「ここ」にいるヒーロー探しとも言えるかもしれません。
小学校6年間の学習のまとめの6年生のテーマは、「加茂軍議」から学ぶ「対話の知恵」です。日本が2つに分かれて戦った「戊辰戦争」の分岐点「加茂軍議」の劇づくりを通して、当時の人たちの感じ方や考え方の違いを意識しつつ、自分の中に「ヒーロー」(対話で問題を解決する人)を作ることに挑戦します。

学習目的等を保護者や地域に広報した、須田 dy 学習劇ポスター

6年生の学習テーマは、対話で物事を解決するための知恵探しです。自分の考えを言うだけの話し合いではなく、自分の考えだけでなく、相手の考えも確かめ、より確かな考えを作り上げることのよさを、150年前の戊辰戦争の際の「加茂軍議」をベースに学習劇にしました。

劇中に、当時の社会制度(大名制度)を基にした身分制度を、実生活の人間関係に置き換え、小千谷談判、加茂軍議の内容を、記録資料を基に再現しました。劇中には、「歴史の知恵仙人」として、学習を通して導き出した「対話の知恵」を織り交ぜた演出をしました。そのことで、自分の考えを分かり易く伝えることを、より意識することができました。